

(別紙4(2))

事業所名: グループホームあじさいの家

目標達成計画

作成日: 令和3年2月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	①避難訓練後の反省点である非常口足元の段差が改善されていない。 ②地域住民が参加した避難訓練が行えていない。 ③非常時持ち出し入居者情報の入居者写真では、ADLの状態がわからない。	①について、段差の改善を行い、安全な非常口を確保する。 ②について、地域住民が参加した避難訓練協力体制を確立する。 ③について、避難後の入居者支援に有効活用できるようにする。	①について、業者に相談しスロープの設置を行う。(スロープ設置を行った。) ②について、再度地域住民の方や地元消防団の方へ協力支援をお願いし、訓練を行う。 ③について、入居者のADLの状態がわかる全身写真を掲載する。	6ヶ月
2	45 (17)	・入浴日を週2回(火・金)と定めており、入居者個々の生活パターンに沿えていない。	・入居者個々の生活パターンに沿って、安心、安全な入浴支援ができる。	・入浴支援について、入居者の再アセスメント、聞き取りを行い意向の把握をする。 ・業務を見直し、必要に応じて、入居者の意向に沿った入浴支援ができるよう業務改善を行う。	6ヶ月
3	36 (14)	・居室内ベッド横に設置しているポータブルトイレについて、目隠し等の配慮が欠けている。	・入居者の尊重とプライバシーの確保ができる。	・ポータブルトイレについては、ご本人の使い勝手や動線を再アセスメントし、日中は、カバーを掛けたり、外部から見えない場所へ移動する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。